

saveMLAK ニュースレター

第 29 号

気仙沼市図書館支援活動に参加して

東日本大震災により一部損壊という被害を受けた気仙沼市図書館では、建物の状況が許す範囲でサービスを継続しています。震災から3年あまりが経過した現在、同館の新館建築計画が具体化し、現在の建物から一時移転する準備を始める段階が訪れました。そこで同館と宮城県図書館の間で相談が行われ、書庫2階に配架された未整理資料を整理するプロジェクトが計画されました。この書庫には未整理の図書、雑誌、新聞などが保存されていましたが、その中で雑誌がまず対象となりました。2014年8月に2回(合計9日間)の整理作業が実現し、宮城県図書館の統括の下、日本図書館協会震災対策委員会とsaveMLAKからの呼びかけに応じた合計10名のメンバーがこの整理作業に参加しました。

第1期(8/6~8/8)は、書庫内から雑誌の端本を抜き出し、同一タイトルの号を通路の書架に集めていく作業から始まりました。運び出しが進むにつれ、多くのタイトルの端本がそれぞれ少量ずつあること、酸性劣化した戦前期の資料も多く含まれることなどが分かってきました。この作業がある程度進んだところで、雑誌の書誌、所蔵情報の記録と現資料の箱詰めを並行して開始しました。これは、雑誌のタイトル、出版社、所蔵年次、所蔵巻次、冊数、文庫名等、そして後で詳しい書誌情報を引き出すためにNACSIS-CAT(CiNii Books)の書誌IDをExcelに入力し、原資料は雑誌タイトルを記した札を挿入して箱詰めしていくという流れ作業でした。箱詰めの際は劣化した資料が破損しないよう中性紙封筒に収めました。また、記録したデータには箱番号を付記し、将来開梱した際の便を図りました。

第2期(8/19-8/24)では第1期の作業を継続するとともに、まとまった分量があるため書庫内に残ってあった資料の整理に着手しました。参加人数が多かったこともあり、現場でできる作業を優先するためデータの記録は目録カードに手書きで行い、入力後は後でまとめて行うよう方針を変更しました。この第2期では、気仙沼市図書館職員の方の指示の下、やむなく廃棄する資料や県立図書館へ移送する資料などの選定も行われました。第1期の初めには膨大に思えたこれらの

作業は、本当に嬉しいことに最終日である9/24の午後無事完了しました。

これまで経てきた職場で、私は同じような整理作業の経験をしています。長年未整理だった山を動かすことや、今後の取り扱い方針を決定すること、そしてそのために短い時間しか与えられていないという状況は、現場では大変悩ましく対応するエネルギーが要るものです。これから新館建設に付随するさまざまな仕事に直面される気仙沼市図書館の方々には心からエールを送りたく、また機会があれば何かしらお手伝いができると思い考えています。宮城県図書館、その他作業にご参加のみなさまにも大変お世話になりました。ありがとうございました。

saveMLAKからの参加者(50音順・敬称略)

- ・北岡タマ子(お茶の水大学知財本部)
- ・田崎淳子(東京大学駒場図書館)
- ・所 笑子(UNC Charlotte Library)
- ・山田 奈々(青森県立保健大学附属図書館)

【田崎 淳子】



開催のお知らせ

震災訓練プログラム saveMLAK

メソッド ファシリテーター育成講座

saveMLAKでは、鈴木光氏(総務省消防庁防災図上訓練指導員、防災ファシリテーター)の監修のもと、社会教育文化施設での訓練等に使える震災訓練プログラムsaveMLAKメソッドを開発し、これまで図書館関係の研修会などで実施してきました。

しかしながら、saveMLAKメソッドを実施・運営できるファシリテーターが不足しており、全国的な実施が困難な状況にあります。



saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複製・配布等、自由にしていただいて構いません。

本講座により saveMLAK メソッドを実施できるファシリテーターを育成し、メソッドのさらなる普及により、今後起こりうる地震への備え、防災意識の向上を目指します。

【実施日】

2014年9月14日(日)～15日(月・祝)

*参加受付は終了しています。

【開催場所】

さくら WORKS<関内>

【対象者】

公共図書館、大学図書館、専門図書館、学校図書館の職員

【参加費】

無料

【成果物】

講座内で saveMLAK メソッドによる訓練シナリオを作成、また講座終了後、参加者それぞれが所属館に合わせた訓練シナリオを作成します。各シナリオは、後日 saveMLAK の HP において公開します。

【小村 愛美】

saveMLAK 会計 2014年8月期収支

8月末日現在

<収入>

受取利子	7	みずほ銀行決算利子
------	---	-----------

計	7	
---	---	--

<支出>

商品仕入高	115,344	グッズ制作費
旅費交通費	5,981	東北派遣
支払手数料	648	振込手数料

計	121,973	
---	---------	--

8月末日現在 残高

1,295,968 円 (先月比 -121,966 円)

【ファンド係：赤塚 昌俊】

8月の出来事と今後の予定

2014年8月5日

第41回 saveMLAK MeetUp 開催

2014年9月16日

第42回 saveMLAK MeetUp 開催

公式グッズができました！

saveMLAK プロジェクトでは、広報や活動資金の確保を目的としてさまざまな公式グッズを作成・販売・配布しています。

今回の黒のトートバック（※写真はイメージです）には、MLAK くとポットクンが登場しています。図書館総合展などのイベントで販売しますので、どうぞお楽しみに！

【市東 礼位子】



saveMLAK 統計 2014年8月現在

ML アカウント数	283 (-2)
総ユニーク wiki 編集者	
アカウント数	521 (+18)
wiki 編集回数の統計	146,501 (+440)
総 wiki ページ数	29,511 (+23)
総 wiki 施設ページ数	25,677 (3)

編集後記

先月中旬に発生した広島県の豪雨および土砂災害で被害を受けた文化施設の情報を集めています。詳しくは <http://goo.gl/OufVNV> をご覧下さい。皆様のご協力、よろしくお願ひします。

【今号編集担当：富澤 美典】

編集発行：saveMLAK プロジェクト
発行日：2014年9月10日(第29号)
発行所：神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル
さくら Works<関内>408
アカデミック・リソース・ガイド株式会社内
saveMLAK プロジェクト
E-mail：pr@savemlak.jp
URL：http://saveMLAK.jp/



saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複写・配布等、自由にしていただいて構いません。